

データベース部門

個人情報保護研修会における講演

データベース部門 上繁 義史

総務部からの依頼に基づいて、個人情報保護に関する講演を行いました。この講演会は、長崎大学個人情報管理規程第8条の規定に基づいて、本学の保有個人情報の取扱いに従事する教職員に対して、保有している個人情報の取扱いについて理解を深めて、個人情報の保護に関する意識の高揚を図るために開催されたものです。

毎年、情報セキュリティの脅威は変化していますので、常に関心を払っていく必要があるでしょう。

日時	平成20年6月24日(火) 10:30~12:00
テーマ	個人情報保護
演題	「個人情報保護と日常からの情報セキュリティ」
講師	上繁 義史 (データベース部門)
会場	中部講堂
対象者	教職員
概要	<p>長崎大学には、学部学生、大学院生をはじめとする学生が約9,000名、教員、事務系職員、技術系職員をはじめとする職員が約2,500名在籍しています。それにより、本学の保有している個人情報の種類、件数は極めて膨大です。本学の教職員はこれらの個人情報は、常に慎重かつ適切に利用していく必要があります。</p> <p>2005年4月以降、個人情報保護法が施行されていますが、同法律では個人情報の有用性と個人の権利利益を保護のバランスをとることを求めています。</p> <p>そこで、個人情報保護の考え方を整理して、それらの情報を守る術、情報セキュリティについての話題を紹介しました。講演の流れは以下の通りです：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報保護 <ol style="list-style-type: none"> (1) 法律の概要 (2) 情報漏洩の原因ベスト10！ (3) ケーススタディ:Pマーク取得企業での情報漏えい事件とその対応 2. 日常からのセキュリティに向けて <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人情報漏えい事故からの教訓 (2) セキュリティ対策の方針例 (3) 【参考】パスワードについて (4) 情報セキュリティ対策に終わりはあるか？ 3. まとめ
備考	本講演の資料は、長崎大学学術研究成果リポジトリ“NAOSITE”にて公開されています。(URI: http://hdl.handle.net/10069/17919)